国際婦人デーに訴える

もっと権利に目覚めて
四次防より幸せのために

今年も〝国際婦人デー〟（婦人月間）の季節が訪れてきたが、三池主婦会はこの機会に全会員に対し、「もっと権利に目覚め、春闘とともに、組織内の運動にとどまらず、地域・社会の運動にまで発展させてゆこう」と、次のように訴えた。

三月から四月にかけて、婦人自らが解放へ目覚めるための記念の月が設けられ、とくに三月八日は〝国際婦人デー〟が世界的に設けられております。

この三月八日から、日本ではじめて婦人に〝参政権〟が与えられた四月二十日の間を結んで、婦人月間が設定され、働く婦人の集会、婦人の権利や婦人運動について討議する機会が設けられてきましたが、今年も去る八日、福岡県の婦人集会が市教育会館で開かれ、参議院議員の藤原道子さんの記念講演が行なわれました。内容は、次のようなものでした。

×

一九〇四年（明治三十七年）の三月八日、ニューヨークで働く婦人たちが、「パンと参政権をよこせ」と叫んでデモンストレーションを起こし、このことがきっかけとなって、各国に〝婦人デー〟が開かれるようになり、一九一一年（明治四十四年）三月八日、ロシアの婦人が大変な不景気の中で立ち上がり、この婦人たちがやがて起こりました一九一七年（大正六年）のソ連の革命の時、その大きな原動力となりました。

（中略）私は、海外三十八カ国を歴訪しましたが、日本は社会福祉制度が一番お粗末です。

例えば、日本の老人ホームは、一死を待つ暗い感じのする施設ですが、北欧諸国は非常に明るく、小使いも年金として十分与えられ、手芸、踊り、焼物などの趣味に余生を楽しんでいます。

日本の場合はお情けであり、外国では権利なのです。

また、日本のように子どもや婦人が粗末に扱われている国はありません。

中国では、妊娠すると工場で妊娠食が出され、仕事も二時間は差しひかれ、産後は二時間の育児時間が与えられます。北欧諸国でも、家庭婦人の健康診断が定期的に行なわれており、病気の早期発見に役立っております。

（中略）婦人が健康でなければ、明るい社会はできないし、次の代の担い手もできません。

このような立場から政治をただすために、物価や社会福祉問題、あるいは国鉄運賃は旅客で十億円の黒字であるのに、貨物は二千百億円の赤字が出ていて、その貨物の赤字を私たちの運賃で穴埋めしようというのですから、けしからんことです。

四次防（五兆一千億円）をやめて、老人や三才児未満の医療無料化を行なえとの要求などとともに国鉄運賃値上げ法案を、何が何でもつぶさなければなりませんが、衆議院議員四百九十一名中、自民二百八十七名で、参議院議員二百五十名中百三十六名であり、容易ではないのです。

野党の主張は、世論が高まることこそが大きな力です。

春闘とともに組織内だけの運動にとどまらず、地域・社会の理解求め、深めてゆく運動にこそしてゆかなければならないと思います。

×

この藤原道子さんのお話しを参考に、私たちは婦人解放を目指して闘ってゆきたいと思います。

お父さん――本当にありがとう

三川新港町　大久保信

「起きて食べんね」

お父さんはエプロンこそしていないが、朝は五時から忙しい。そのお父さんは、ごはんを食べながら私にこういう。

私はオルゴールの音に目を覚し、一番方のお父さんを起こす。

お父さんは、弁当箱にきれいにならべたおかずを、「ホラ」といって私にみせる。女である私も顔負けだ。

本当に、このごろのお父さんは良くしてくれる。去年の八月私が病気のため再入院した時、ちょうど入院中だった娘は、「お母さんも入院なら私が退院する。お父さんは、何もしきらっさんもん」と泣き声でいった。

だが私には、この四十三キロの身体を休めるのを考えることしか許されなかった。

「母さんをいじめんで」と私も娘の前で泣いた。

もう、一歩も歩けないのだ。「そんなはずはない」と思いながら身体をベッドから起こそうとするが、まったく無駄だった。

九大病院に行き、熊本中央病院に入院して治療したおかげで、やっとわが家の敷居をまたぐことができた。

帰ってから二日目の朝、起きなければ、と思ったが、気持だけで身体の方は不安定だった。

「タマゴ焼きが残っているから、ごはんのときにたべんね」

出勤前に、お父さんはいってくれた。

私は「ごはんをコタツに入れとってね」といったら「おつゆも入れとくから」と、よく気がついてくれるのがうれしい。

お父さんに感謝し、ケガのないよう祈りながら、その出勤を病床の中からおくりだすこのごろである。

一つ間違えば、ケンカをせねばならないお父さんだけれど、お父さんありがとう。

心から感謝する。次に、お父さんに短歌を一首ささげる。

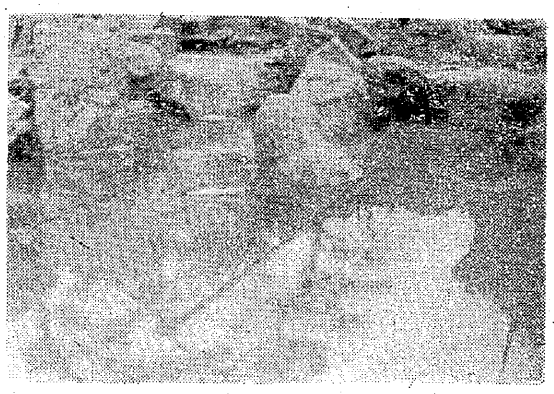
長かりし異郷の夜明け
待てばとて
待つこと苦し
夫（ツマ）恋しかり

×

三池主婦会三川支部新関〝主婦会三川〟（NO・五〇）から紹介しました。

主婦会員の皆さん、いろんな家庭生活上の経験を、この欄を通して語り合いましょうどしどしご投稿を。

錦鯉が死んでゆく！
新港作業所の泉水　公害の襲来では？



錦鯉のかわいそうな死体が、こうして毎朝泉水の水面に浮いている。

三池労組が三井鉱山に要求して新港町に造成することのできた〝新港町作業所〟（在籍五三人）ではほぼ一年ばかりかかってつくった泉水に、錦鯉や金魚を飼って育ててきたのが、この頃になってから次つぎに死んでは、白い腹を上にして浮き上がるようになり、新たな問題を投げかけている。

調べるまでもなく、水面一面に汕らしいものの薄い膜がはっている。

ここの職場分会（十一分会）では、昨年すぐ近くに操業を始めた三池製作所で、作業中に空気中に舞い散る油性の物質が、南風に運ばれては降ったものに違いなく、それがこの公害となっているのでは……と見て、会社に対して真相をただす一方、組合本部を通して市の公害課に泉水の水を送り、分析を依頼した。

公害は同作業所ばかりでなく、付近の新港社宅にもかなり広がっているものらしく、社宅に住む家でも、泉水に飼っている魚が死んでおり、すでに飼育をやめている家さえある。

同作業所で働いている人はもちろんCO患者だが、「大爆発に被災した上に、また降ってくる公害でいじめられてはたまらない。ハッキリ公害の正体がつかまれたときは、作業所を移すように会社に要求せんなら……」と、対会社交渉や、公害課の分析結果に注目している。

女子差別定年は無効

【運合】女子五十才定年を理由に、日産自動車をクビ切られた全金プリンス自工支部の中本ミヨさん（五十四才）は三月二十三日、東京地方裁判所で「女子五十才定年制は公序良俗に反し、解雇は無効」とする判決をかちとった。

中本さんは昭和四十四年、会社が日産自動車労組と結んだ労働協約による「男五十五才、女子五十才定年制」にもとづき、解雇を通告された。

このため、「差別女子定年制は無効」と地位保全の仮処分を求める訴えを起こし、一審とさる三月十二日の東京高裁の控訴審で敗訴したが、こんどの地裁判決（本訴）で勝利したもの。地位保全については最高裁で争う。

ひどい医療の荒廃
総評が実態調査の中間報告

荒廃した医療の実態の一端が、このほど総評が実施した「医療実態調査」によって明らかにされた。

調査の重点は、医療保障がその機能をもちえず、健保の一〇割給付が名目化している実態、低医療政策と医療供給体制のあり方の矛盾が看護婦への合理化攻撃となり、患者をもまきこんでいる実態などだが、中間報告は〝保険あって医療なし〟といわれる医療の荒廃をまざまざと示すものとなった。

総評では、広範な問題が解決されていないにもかかわらず、健保を改悪しようとする政府の態度は許せないとして、健保改悪反対闘争にいちだんと力を入れる方針を再確認している。

短歌　歌集を編む

三川　木村　守

闘争の苦節がありき長かりきとどめ度き短歌十年を編む
懸命にこらうるくらし子も真似ていち日造花の賃五十円
一酸化炭素のガスに狂いたる時期ありし歌集編む思いを燃やす
炭塵爆発に命うしないし人多し生きて中毒症に苦しむ多し

短歌ノート

思える。

炭塵爆発の救援作業から一時得た激しい頭痛、健忘症という被災者に似た症状は、短歌をも放棄せざるを余儀なくされ、うつ屈の日はかなり長く私の心を締めつけてきた。

一昨年あたりからようやく短歌への愛着も強くなり、本年限りで停年退職、思い出は尽きない。ここに来て昭和三十年より昭和三十九年に至る、最も苦難の労働十年を、題して「鉄帽」という名に、短歌集発行を決意し、現在、短歌雑誌「水がめ」のご理解を得て、水がめ叢書として発刊の段取りを得ることになった。

水がめ主幹の序歌、

みいけなる最もかなしき十年史
うたいとどめて一巻にあり

を頂くことができ、印刷の機が近づいてきた。多くの人のご批判をこいたい。右の短歌は歌集を編んでの気持を短歌に詠んだものである。昭和四八〝三・二三　記

激烈に闘いて狂う労資間敵視姿勢は凝りて固まる
激烈をきわめし闘争労働者に労働者の支援資本に国家権力の支援
隠忍自重という言葉あり企らまれ労組二つに割れて角逐
検収と言へる職種の監視にて作業の度合照らされている
捲揚機に作業量現出の機器付けて働らく度合測りてもいる
精神力を訊して来るに忍耐と言葉を変えて答えたるわれ
労働に擦り減るいのち老いを知りそめて苦闘の短歌集編む
半島工殴打したると殴打されき「やま」の慣習の郷像にして
大東亜戦遂行の国策に製菓子技十年にして処断受けにき